

平成16年試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 98 ※記入不要	提案機関名 自然環境保全センター 県有林部
要望問題 スギ・ヒノキ穿孔性害虫被害木の解剖的研究	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 地域的に、スギ・ヒノキ穿孔性害虫による被害が大きいといわれているが、最近の被害実態や被害木の解剖的所見及び被害率（頻度）については解明されていない。 そこで、本県の穿孔性害虫被害について、最新の被害実態と被害木の解剖的解明、及び被害率（頻度）についての研究調査を要望する。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
研究対応区分	<input checked="" type="checkbox"/> ①研究所対応 ②委託研究 ③共同研究 ④その他
対応を希望する研究機関名	①農業総合研究所（ ②根府川試験場 ③三浦試験場 ④津久井試験場 ） ⑤畜産研究所 ⑥水産総合研究所（ ⑦内水面試験場 ⑧相模湾試験場 ） <input checked="" type="checkbox"/> ⑨自然環境保全センター

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	自然環境保全センター
部 署：	研究部
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 <input checked="" type="checkbox"/> ④実施済 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可
試験研究課題名	(①、②、④の場合)
対応の内容等	平成元～3年に被害実態調査（分布・頻度）と調査手法について、研究部で実施済みです。 被害材の強度については、普及で実施します。
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
備考	